

# 兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 12 号)

2023年 2月 6日発行  
兵庫のり研究所

海域全般に、栄養塩を消費する珪藻類はほぼ確認されません。窒素は、南浦海域で  $2 \mu\text{g-at/L}$  前後、東浦海域で概ね  $2 \mu\text{g-at/L}$  台の値となっています。

### (珪藻、栄養塩ほか)

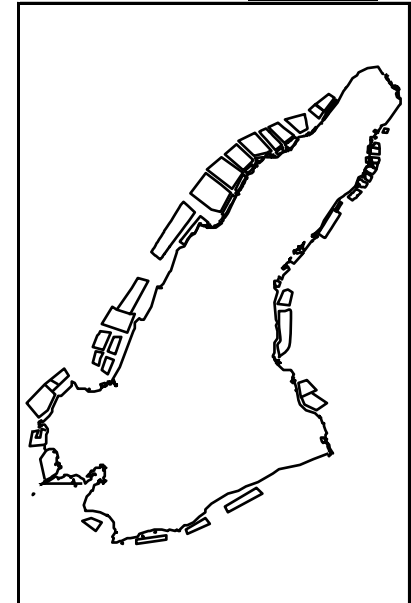
海域全般に、珪藻の発生量は前回(1/27)調査と同様に少なく、ほぼ確認されない。ただし、森漁場では周辺の漁場と比較して、小型珪藻のキートセロス、ニッチア、大型珪藻のユーカンピアがやや多く確認された。各海域のユーカンピア発生量(海水 1ml あたり)は、南浦海域で0~1細胞(前回値: 0~2細胞)、森漁場を除く東浦海域で0~5細胞(前回値: 20~150細胞)、森漁場で10~20細胞(前回値: 20~30細胞)であった。鳥飼漁場では、窒素の値が特異的に高くなっていた。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	1.6	2.1	2.8	2.3
	リン	0.36	0.47	0.31	0.28
西浦地先	窒素	1.5	4.0	3.6	1.7
	リン	0.46	0.58	0.46	0.32
南浦地先	窒素	1.4	1.9	3.0	2.2
	リン	0.41	0.53	0.39	0.35

(1/27)

(2/4)

### 水温図



### 栄養塩 (窒素) 図

2023年 2月 6日調査

